

## 発 表 要 旨

題目： ロボット工学と哲学——学際融合研究での科学哲学の役割

氏名： 中山 康雄（オーガナイザー）

所属： 大阪大学大学院人間科学研究科

本シンポジウムでは、学際融合研究での科学哲学・心の哲学がはたしうる役割と可能性について、二つの具体的プロジェクトを例にしながら、議論する。シンポジウムでは、石黒が自らのロボット研究のアプローチとGCOE「認知脳理解に基づく未来工学創成」のプロジェクトを紹介するとともに、哲学的問いや脳科学などの他の研究分野の接点やあるべき工学研究者像などについて持論を展開する（ちなみに石黒は、人間に外観が酷似したアンドロイドタイプのロボットを作成しながら人間の存在についても追究しようとする世界的ロボット研究者である）。中山は、この研究の中で科学哲学がはたしうる役割について提案するとともに、現状での共同研究の試みや今後の展望について述べる。また柴田と金野は、科研費研究「認知ロボティックスの哲学」を基盤にして、他者の意図を共有するロボットに関する研究とこのプロジェクトにおいて哲学がはたすべき役割について共同で発表する。これを機会に、学際研究の中で科学哲学・心の哲学がはたすべき役割について新たな観点からともに議論することが、このシンポジウムの目的である。なお、提案者の中山が同時に提題者でもあるため、当日の司会は山田友幸が担当する。